



発行:埼玉県生活協同組合連合会  
〒330-0064 さいたま市浦和区岸町7-11-5  
TEL:048-844-8971  
URL http://saitama.kenren-coop.jp



第45回埼玉県消費者大会  
平和で安心してらせる社会をめざして

“高めよう、消費者市民力！ 平和で安心してらせる社会をつくりましょう”を大会スローガンに24消費者団体による実行委員会で開催し、約800人が参加しました。オープニングの「コカリナ演奏」では、木の持っている柔らかな音色が披露されました。来賓として安久沢県民生活部副部長のあいさつ、基調報告と県への要請書採択、記念講演は「人は何故騙されるのか〜科学者が解明！ 消費者被害から核兵器まで〜」と題し、平和と騙しの実態について話され、またスプーン曲げのマジックが披露されました。午後の5つの分科会には450人が参加し、テーマごとに学習・交流しました。

ピースフォーラム  
in  
さいたま

地球の滅亡から子どもたちの未来を守るために、  
核兵器廃絶と平和の大切さをアピール

10/1



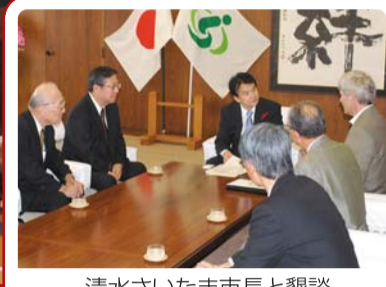
人類にとって来年のNPT再検討会議が意味すること

埼玉会館小ホールにて、来年のNPT(核不拡散条約)再検討会議に向けて、平和の理念を広げ、核兵器廃絶への道筋を確かなものにしていくために「人類にとって来年のNPT再検討会議が意味すること」をテーマにスティーブ・リーパー氏(広島平和文化センター理事長)にお話をいただきました。講演後の「核兵器禁止条約の締結を求め」署名活動に約50人が参加して協力を呼びかけ186筆の署名が集まりました。平和市民5団体の代表等で「さいたま市長と上尾副市長との懇談」を行い、秋葉広島市長からの平和市長会議への加盟要請書をお渡ししました。

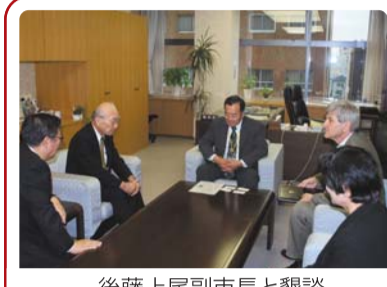
主催  
埼玉県原爆被害者協議会  
埼玉県地域婦人会連合会  
埼玉県生活協同組合連合会  
原水爆禁止埼玉県協議会  
埼玉県平和運動センター



浦和駅西口での署名活動



清水さいたま市長と懇談



後藤上尾副市長と懇談

第30回八都府市合同防災訓練<埼玉会場>  
生協の災害支援活動や  
防災の取り組みを紹介

8/30



救済物資の広域搬送訓練に  
生協車両3台が参加

防災フェアを支援  
防災フェアを支援

「本庄総合公園」を主会場に、全体で約5,000人、埼玉県生協連から6生協・2連合会36人が参加しました。県との「基本協定」にもとづく12回目の参加。防災フェアの会場では、災害と食のタベストーリー等の展示、医療生協さいたまの健康チェック、減災の手引き、さいたまコープによる応急生活物資を配布。防災クイズにも大勢の方が参加しました。

JAとの協同組合間提携  
平成21年度埼玉県産米交流会「体験稲刈り」  
秋晴れの中、家族で元気に稲刈り体験

9/19



生産者・消費者の交流を目的に今年で11回目となる稲刈りに28家族103人が参加しました。会場の「体験園場」(久喜市)では、参加者は、鎌の使い方の説明を受けた後、1つの島を2家族で分担して稲刈りを行いました。体験後は、県産米のおにぎりやすいとん等の試食、春から育てたバケツ稲の脱穀方法や籾殻取りの説明がありました。

マスコミさいたま支局長会との懇談会  
県内生協の取り組みをアピール



9/25

県内生協の取り組みや活動についてもっと知りたいとの思いから、毎年懇談会を開催しています。さいたま支局長会8社、埼玉生協連・会員生協から8生協(連)あわせて28人が参加し、消費者・食の安全、医療・介護の問題等について懇談しました。

生協ネットワーク協議会第2回協議会  
米粉の調理実習と学習から  
地産地消を考える



9/14

米粉の開発や利用普及推進のお話を聞いた後、焼きりんごケーキとラップスの2品を調理し生協のお薦め商品と共に試食。その後の学習会で、米粉は「扱い易く、天ぷらもカラッと揚がり、カロリーを抑えられること」や、食料の安定のためには食料自給率の向上が必要など等を学びました。

米粉を使ったラップス

31人参加

「彩」のかがやき エコ循環米」の生産者の協力で、  
田んぼのがっこう「親子お米づくり教室(稲刈り)」を開催  
さいたまコープ  
9月27日、杉戸町の「アグリパークゆめすざと」に隣接する田んぼで、稲刈りが行われ、25組69人の親子が参加しました。鎌の使い方を教えていただき稲刈りにチャレンジ。収穫したばかりの「彩のかがやきエコ循環米」を試食しました。また、手作業での「もみすり」と「精米」の体験や各家庭で育てた「バケツ稲の品評会」も行われました。

実りある 豊かな活動が  
広がっています。  
この紙は再生紙を使用しています  
印刷は環境にやさしい大豆インキを使用しています。

「くらぶメゾン越谷」がオープン!  
生活クラブ生協  
10月1日、2つめの「くらぶメゾン」が越谷に誕生しました。生活クラブと、生活クラブの大型班「結(ゆい)」の荷受けを担当し、2つのワークスコレクティブ手作り惣菜を販売する「サラダ」と子育て支援集いの広場「はぐ・はぐ」を運営する「みるく」が協同で運営しています。10月1日〜3日には、オープニングイベントを行い、たくさんの方が集まりました。

黄金の海原が広がる中での稲刈り体験  
埼玉県勤労者生協  
9月26日〜27日、組合員とその家族、生産者など100余人が参加して、庄内協同ファームの田んぼで稲刈りが行われました。5月に植え、アイガモを使って有機栽培農法で育てた32アール分のたわわに実った「ひとめぼれ」を鎌で刈り取りました。参加者一同稲刈りに汗をかいた後は、用意していただいた新米のおにぎり、豚汁、郷土料理を味わっていただきました。

講演会「日本の食料を守りたい!」を開催  
ドックコープ  
10月1日、浦和コミュニティセンターで、原子力資料情報室の澤井正子さんを講師に、講演会「日本の食料を守りたい!」を開催しました。原子力発電の仕組みから、日本が進めている核燃料サイクルの概要をわかりやすく説明した上で、「大気や海洋に放射性物質を直接排出する六ヶ所村再処理工場の問題点や大量の電力を作り出すには、必ず何らかの自然破壊を伴う負の側面について知ることこそが大切」と話されました。

埼玉協同病院増築が完成!  
手術室などが充実!  
医療生協さいたま  
医療生協さいたまのセンター病院・埼玉協同病院の新診療棟が完成しました。手術室(3階)、透析室(4階)、化学療法室(2階)などが拡充され、手術件数の増加にも対応することができます。1階には食堂・売店が入りました。9月19日に、組合員・職員など400人を超える参加のもと内覧会が行われ、担当職員の説明を聞きながら新しい施設・設備を見学しました。

全国の産直産地と交流を進めています  
コープネット事業連合  
会員生協がコープネットグループエリアを中心に進めてきた産直産地との交流を、2009年度はコープネットとして全国の主要な産地に広がっています。8月のJAよういて(北海道)を皮切りに、JAいわて花巻(岩手県)、JAふくおか八女(福岡県)など10産地を会員生協の理事長や組合員理事、職員らが訪れる予定です。

第45回運動会を10月4日に開催  
子どものその保育生協  
子どものその運動会は毎日のお遊びの延長線上にあるもので、幼児期の発達意識しながら、子どもたちが意欲的に挑戦できるものを種目にして取り組んできました。中でも、年長組のソーラン節は小さい頃からの憧れで、大好きな踊りです。漁師の姿をイメージしながら、腰を低くして力強く踊っていました。午後からは、子どもたちに負けず、お父さんお母さんもとりきって競技に参加しました。

Peace Now!! Okinawa 2009に参加  
十文字学園生協  
十文字学園生協から9月6日〜10日まで行われたPeace Now!! Okinawa 2009に1名参加しました。「ガマに入ったこと、戦争体験の話を聞いたこと、平和祈念館に行ったことが特に心に残りました。戦争がどれだけいけないのか、人の心まで変えてしまうものなのか等、どう伝えていけるかは難しいことがあるけれど、自分が今できることを考え、ここで学んだことを生かして平和活動に関わっていきたく」と報告しています。